

8/24 早稿

森友問題「一番の災害」

公明・石井幹事長 自然災害と同列に



公明党の石井啓一幹事長
＝写真＝は二十三日、東京

都内の講演で、安倍政権の国土交通相

在任時に關係

閑僚として対応に当たった
森友学園を巡る問題について、地震や他の自然災害に

言及した上で「私にとって
一番の災害だった」と述べ

た。多数の犠牲者が出了自然災害と、国民の厳しい視線を注がれた政権の疑惑を
同列に並べた発言で問題視される可能性がある。

森友学園問題では、開校予定だった小学校の名前校長に安倍晋三元首相の妻昭恵氏が一時就き、売却された国有地の値引きの背景に官僚の忖度があったのではないかとの疑惑が浮上した。財務省の決裁文書改ざんも発覚。改ざんを強いるかとして近畿財務局元職員が自殺した。

石井氏は、二〇一五、一

九年の国交相在任中に起きた熊本地震や西日本豪雨、北海道地震を列挙し、「一番の災害だったのは森友事件に関わってしまったということが」と語った。「大臣時代は足かけ三年、国会のたびごとに森友で追及された」と振り返った。

（本文終）